

おひさま教室

ことばの教室	ことばが遅い、ことばのやり取りが難しい、 発音がはっきりしないなどの相談に、言語 聴覚士が個別の支援を行います。
運動の教室	おすわりやハイハイが遅い、手先が不器用、 転びやすいなどの相談に、作業療法士が 個別の支援を行います。
小集団教室	作業療法士や保育士などのスタッフが 少人数のおともだちと一緒に、運動や親子 遊びを通して集団行動に必要なことを楽し く練習します。
臨床心理士 による個別相談	発達で気になることなどの相談に応じ、 必要に応じて発達検査を行います。

嘉麻市内の保育所(園)・幼稚園に
専門相談員を派遣し、お子さんが友だち、
先生とのコミュニケーションや活動などに困る
ことなく、楽しく過ごせることを目的に支援を
行います。

お子さんの発達に不安のあるご家族を対象
に、コーディネーション理論の観点から
徳島大学名誉教授の荒木秀夫先生が
個別相談に応じます。ことばや運動などの
お悩み・相談に対応します。

それぞれの取組みについての問い合わせは「市の相談窓口」
をご覧ください。お気軽にご相談ください。

市の相談窓口

乳幼児の育ちや発達の相談

子育て支援課 母子保健係 (碓井支所)

【乳幼児健診・育児相談の係】

☎0948-62-5715

発達の遅れや気になることの相談

子育て支援課 発達相談支援係 (碓井支所)

【おひさま教室・巡回相談の係】

☎0948-62-5716

スポーツ推進課プロジェクトK・スポーツ推進係 (碓井支所)

【「こどもクリニック」の係】※不定期での開催となります。

☎0948-62-5730

入学に向けての相談

子育て支援課 家庭・教育相談支援係 (碓井支所)

☎0948-62-5733

通所支援(児童発達支援)など

福祉サービス利用の相談

社会福祉課 障がい者福祉係 (本庁舎)

☎0948-42-7458

発達障がい全般に関する相談

福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ

田川市夏吉4205-7

☎0947-46-9505



発達障がいを知ろう!



発達障がいとは、脳機能の発達が関係する生まれつきの
障がい、対人関係や行動のコントロール、学業など生活に
支障が生じる状態のことをいいます。

発達障がいは病気ではありませんが、保育所や幼稚園に
通い始めると、さまざまな問題に直面することがあります。

発達障がいのある子どもが健やかに成長するためには、
発達障がいを早期に見つけて、特性への理解を深め、適切
な療育を行ったり、環境を整えたりすることが重要です。

お子さんのこんな特性気になりませんか？

おうちの中で

- あやしても笑ったり、視線を合わせたりしない。
- ほんの少しの間も、じっとしてられない。
- 言葉がなかなか増えない。
- 「危ない」とか「だめ」が理解できず、注意したらかんしゃくを起こす。
- 髪を洗うことや歯磨きを極端に嫌がる。
- バイクや飛行機、掃除機などの大きな音が苦手。
- 決まったものしか食べない（偏食が激しい）。

集団の中で

- おともだちと楽しんで遊ばず、いつもひとりである。
- みんなと一緒に行動できず、ひとりで走り回っている。
- おうちのトイレではできるのに、園などのトイレはいやがってできない。
- おともだちや先生との会話が成り立たない。
- 席にじっと座ってられず、立ったり、いすをガタガタゆらしたりするなど落ち着きがない。
- 新しい場所や新しいおともだちなど、初めてのことが苦手で、部屋に入りたがらなかつたり、登園をいやがったりする。
- 毎日同じスケジュールでも覚えられず、どう動いていいのかわからないことがある。

あそびの中で



- 手をつなぐことや抱っこを嫌がる。
- ミニカーや積み木を1列に並べたり、扇風機やタイヤなど、回転するものをじっと見たりするなどを繰り返す、なかなかやめられない。

以上のような特性があったとしても、必ずしも発達障がいがあるというわけではありません。

ただ、そのことで困っていたり、生活に支障が出てしまったりした場合には、専門的機関などに相談し、子どもへの理解を深め、環境を整えていくことが必要です。

どんな接し方をしたらいいの？

本人の特性や気持ちを理解する

同じ失敗を繰り返してしまう場合や、どうしても気になる行動がなおらない場合は、叱るだけでなく、なぜ失敗してしまうのかを考えてみましょう。「〇〇したかったんだね。」「〇〇の音が怖かったんだね。」など、共感する言葉がけや、困った行動があっても「わざと」「ふざけている」と思わず、お子さんなりの理由が何かあることに、目を向けてみましょう。

今できていることをほめ自信をつける

悪い行動ではなく、良い行動に注目し、できたときにはすぐにほめるようにしましょう。

ルールや予定をわかりやすくイラストなどで示す

ことばだけでなく、スケジュール表や絵カードなどを用いて、目で見てわかるようにすると伝わりやすくなります。

落ち着ける場を用意する

不慣れた環境でストレスを感じるなどにより、パニックを起こすことがあります。叱ったり、無理に押さえつけたりせず、別室やカーテンで仕切ったリラックススペースを設けるなど、いったん休ませて落ち着くのを待ってみましょう。

むやみに叱らず、できるように工夫する

どのようにすればできるのか、工夫しながら接していきましょう。できなかったことや、わからなかったことを頭ごなしに叱ってしまうと、劣等感を持たせるだけになります。

困っていることに気づき、理解し、特性に合わせて対応を工夫していくことで、「安心」「自信」「意欲」「自己肯定感」「家族や他人への信頼感」などが生まれます。